

# 仕様書

## 1 業務概要

### 1-1 目的

この事業では笠置町内における捕獲檻の IOT 化を進める。

現在笠置町猟友会は、構成人数 7 人、有害捕獲隊員は高齢化の一途を辿っており、行政から委託されている有害捕獲の効率化を図る必要がある。笠置町内全域には 43 基の檻が設置されているが、毎日それらを見回することは高齢の猟友会にとっては体力的にも時間的にも難しいところがある。この事業では、捕獲檻の IOT 化による見回り業務の負担軽減、それによる潜在的な捕獲頭数の増加を目的とする。

### 1-2 業務名

令和 3 年度緑の公共事業（野生鳥獣被害総合対策事業）  
相楽郡笠置町切山・横川・笠置山地区捕獲檻 IOT 化業務

### 1-3 業務内容

- 1-3-1 笠置町内切山地区における捕獲檻のセンサー作成・設置
- 1-3-2 同地区における受信局作成・設置
- 1-3-3 笠置町内横川地区における捕獲檻のセンサー作成・設置
- 1-3-4 同地区における受信局作成・設置
- 1-3-5 笠置町内笠置山地区における捕獲檻のセンサー作成・設置
- 1-3-6 同地区における受信局作成・設置
- 1-3-7 取得データを web 端末で表示する変換システムの構築

### 1-4 業務期間

- 1-4-1 相楽郡笠置町切山・横川地区捕獲檻 IOT 化業務  
契約日～令和 4 年 2 月 25 日

## 2 切山・横川地区捕獲檻 IOT 化業務に係る機能要件

### 2-1 前提条件

- 2-1-1 切山・横川・笠置山地区の捕獲檻においては、山間部に位置しており電波状況が不安定であり、バッテリー交換等のメンテナンス作業を減らすこと。
- 2-1-2 受信局がある場合、受信局から捕獲檻のセンサーまでの通信料が安価であること。
- 2-1-3 通信プロトコルを公開すること。

### 2-2 操作性

2-2-1 高齢者でも活用しやすいように、センサー機器のセッティング方法が簡単なものであること。

2-2-2 センサーが作動したことが容易に確認できること。

### 3 留意事項等

3-1 切山地区の捕獲檻に関しては、山の麓にある民家周辺の捕獲檻ではなく、野田林道や三国林道といった奥地（民家から離れていること）の捕獲檻を優先する

3-2 切山・横川・笠置山地区には合計 20 基の捕獲檻が設置しており、当補助事業では奥地（民家から離れていること）から優先的に IOT 化を進める。

※捕獲檻位置図に関しては別紙 1,2,3 を参照

### 4 金額

3,300,000 円

### 5 その他

本仕様書に定めのない事項については、提供内容をもって判断する。

#### <問い合わせ先>

相楽ジビエ利用拡大コンソーシアム

事務局長：株式会社 RE-SOCIAL 山本

[TEL:080-5639-1897](tel:080-5639-1897)

Mail:[resocial.kyoto@gmail.com](mailto:resocial.kyoto@gmail.com)